

千葉県生誕150周年記念事業について

～県生誕から150周年を振り返り、続いていく未来(100年後)に思いを馳せる～

これまでの千葉県を振り返る
～県誕生から「県民の日」制定まで～

明治4年7月の廃藩置県によって、26県となった房総地方ですが、その後の改置府県により、11月に印旛県、木更津県、新治県が誕生しました。さらに2年後の明治6年6月15日、印旛県と木更津県が合併し、千葉県が生まれました。権令(現在の知事)には、印旛県と木更津県の権令であった柴原和が任命され、県庁は、両旧県の接する地である千葉郡千葉町(現在の千葉市)に置かれました。



明治中頃の千葉県庁

当時の千葉県の人口は約103万人で、そのうち農業従事者が58万人余で半数を超えていました。また、145の町と2640の村があり、明治7年の千葉県庁は、庶務課・租税課・出納課の3課体制でした。

それから100年後の昭和48年6月15日、「千葉県誕生100周年」を振り返り、郷土づくりの将来を県民とともに考える」として、県政100年の記念式典が千葉県文化会館において挙行され、先覚者の顕彰等が行われました。



また、20歳以上30歳未満の青年を海外に派遣する「あすへの翼」や、夏休みを利用して行われた高校生の東南アジア派遣、少年自然の村の設置、農業祭、水産祭、植樹祭等の様々な記念事業が実施されました。

昭和59年には、人口が500万人を突破したことを記念して、6月15日を「県民の日」に制定しました。「県民の日」は、「県民が、郷土を知り、ふるさとを愛する心をはぐくみ、共に次代に誇りうる、より豊かな千葉県を築くことを期する日」として制定されており、現在ではすっかり定着し、毎年、県民の日を中心に様々なイベントや県内施設などの割引、無料開放等が実施されています。

令和5年6月15日は千葉県生誕150周年!

そして、明治6年から150年が経った令和5年、いよいよ千葉県は生誕150周年という節目の年を迎えます。

千葉県では、この節目の150周年をこれまでの150年を振り返るだけでなく、続いていく未来(100年後の千葉県)を県民みんなで考える機会とするため、コンセプトやキーワードに沿った記念事業を展開していきます。また、県内外から人を呼び込む絶好の機会と捉え、市町村が主体となり広域で実施する中核イベントや、市町村ごとに実施する記念行事を募り、県内全域で盛り上げていきたいと考えています。

来年に向けた機運醸成～令和4年度の取組～

来年の150周年に向けて、今年度から様々な事業を進めています。

(1) 150周年記念ロゴマークの制作

150周年事業を、統一感を持った事業とするため、県のマスコットキャラクターであるチーバくんのロゴマークを生みの親である坂崎千春さんをお願いして新たに制作中です。

150周年の年となる令和5年1月頃から、記念事業に賛同いただける事業者の募集

を開始する予定です。この「賛同行事」では、150周年記念ロゴマークを活用できるようにして、一緒に盛り上げていただきたいと考えています。

(2) ちば文化資産の追加募集

「ちば文化資産」は、平成30年に東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムの一つとして、千葉の文化的魅力を再認識していただくため、県民投票等により選定した、多様で豊かなちば文化の魅力を特徴づけるモノやコトです。

今年度は、千葉県生誕150周年を契機に、千葉県の文化の魅力を再認識していただき、未来に継承していくため、「ちば文化資産」を150件に増やす追加選定を行います。追加候補の募集は既に終了していますが、追加する39件を選定する県民投票は、11月中旬から開始予定です。ぜひご参加ください。

また、千葉県生誕150周年記念「ちば文化資産」オリジナルフレーム切手デザイン

(3) 切手デザインコンテストの開催

また、千葉県生誕150周年記念「ちば文化資産」オリジナルフレーム切手デザイン



千葉県のかたちチーバくん



千葉県のなりたち



千葉県環境生活部
スポーツ・文化局
文化振興課

コンテストも実施中です。皆様からご応募いただいた絵画・写真作品の中から県民投票により、10点の作品をオリジナルフレーム切手のデザインとして採用します。なお、応募作品は順次、千葉県立美術館や県内商業施設等で展示する予定です。会場でもインターネットでも投票することができます。たくさんの方の参加をお待ちしています。このフレーム切手は、令和5年6月から県内各郵便局において販売される予定です。お楽しみに。

千葉県生誕150周年記念事業

テーマ ～県生誕から150周年を振り返り、続いていく未来(100年後)に思いを馳せる～

<p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症や自然災害による経済や県民生活への影響 文化の祭典でもある東京オリンピック・パラリンピックの財産の継承 豊かな自然環境と優れた都市環境を持つ本県ならではの多様な文化資源 東京に隣接する一方で、三方を海に囲まれ、里山等の豊かな自然に囲まれた県土 	<p>千葉県生誕150周年記念事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンセプト 東京の隣接性を意識しつつ、千葉の豊かな自然環境(海、里山、川、水辺)を活かす ○キーワード 食、アート、音楽、映像、テクノロジー、カンファレンス、SDGs <p>市町村が主体となって実施する中核イベントや記念行事を募集し、県から補助金を交付</p>	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内外の交流人口増加による地域経済の活性化 地域の魅力を再発見することで郷土への誇りを高め、県民の千葉への愛着を深める 千葉のブランド価値の創出・向上 新たな文化芸術の価値を創造できる社会
---	--	--

令和5年6月～令和6年6月までの1年間を150周年と位置付け、これまでの150周年を振り返るとともに、続いていく未来(100年後の千葉県)を県民が考える機会に